

周布川

大長見ダムだより

平成24年度第1号
平成24年6月
浜田県土整備事務所

まもなく洪水期です。

大長見ダムでは6月16日から9月30日までを洪水期として管理しています。洪水期とは、梅雨や台風などにより大きな洪水が予想される期間です。

洪水期間中は浜田市から発表される防災情報や、気象庁の天気予報等に特に気をつけてください。

また、最近では局所的な大雨が突然降り出すことがも少なくありません。上空で黒い雲が発生したり、雷が鳴ったりしたら注意しましょう。



こんな時には大長見ダムから警報を行います！

以下の場合には、周布川沿川の警報局からの警報や、警報車によるパトロールを行います。

① 急な増水の恐れがある場合

上流で雨が急に強くなりダムから流れ出る水が急に増えると、**下流の川の水かさも急に増える**ことがあります。この恐れがある場合は、ダムから放送やサイレンを鳴らします。放送やサイレンが聞こえたらすぐに川から上がり、川に近づかないようにしてください。

② ダム上部からの水が溢れ出る恐れがある場合

大雨が長く続き大量の水がダムに流れ込むと、**流れ込んできた水がダムを越えてそのまま下流へ流れ出します**。この越流の前にダムから放送やサイレンを鳴らします。放送やサイレンが聞こえたら川に近づかず、市の発表する防災情報等に注意してください。**(越流中はダムへの流入量より多い水量を放流することはありません。)**

想定外の災害に備えて

想定を超えた豪雨により大長見ダムの上部から水が溢れ出す場合、ダムでは警報活動を行います。また、周布川が氾濫する恐れがある場合は、市からの避難勧告等により沿川の皆さまに避難の喚起等を行います。そのような切迫した状況から命を守る上では、皆様がダムや市からの情報をうけて迅速に対応できるかどうかが大変重要です。皆様がお住まいの地域の防災ハザードマップを基に、浸水した場合の避難場所・経路について事前に確認しておくことで、氾濫時に迅速に避難できるよう日頃から準備しておきましょう。

裏面もご覧ください



洪水対応演習を実施しました

5月16日、大長見ダムの上部から水が溢れ出すことを想定し、国土交通省、警察、消防、浜田市役所と連携し、洪水対応演習を実施しました。演習では関係機関へダムの情報を伝達したり、警報車でのパトロールなどの訓練を行いました。

演習の事前打ち合わせの様子です。



大長見ダムは「100年に一度の確率」で起こりうる豪雨を想定して作られています。想定を超えた雨が降ればダム上部から水が溢れます。その時には沿川にお住まいの皆様迅速な避難をしていただく他に身を守る方法はありません。

この「100年に一度の確率」ですが、普段生活しているとなかなか実感が湧かず、「100年に一度なんて来ないよね・・・」と思いがちです。しかし、この100年規模の豪雨は全国至る所で発生しており、当地でもいつ発生してもおかしくありません。私たち職員もダムが溢れる状況を想定し、上のような洪水演習などにより準備をしています。

「ダム上部を超えて水は溢れないだろう」と油断するのではなく、「溢れるかもしれない」と考え、普段から準備をしましょう。

ダム周辺安全点検を行いました。



4月25日にダム周辺施設の安全点検を実施しました。紅葉湖を安全に見学していただけよう、浜田市役所と協力して毎年GW前に行っています。

展示室でダムについて学びます。



大長見ダム管理所1階の展示学習室では、タッチパネルや掲示物により大長見ダムのことをわかりやすく紹介しています。見学の際にはぜひお立ち寄り下さい。

★大長見ダムに関する意見・質問等ございましたら、下記までお気軽にお問い合わせ下さい。

島根県浜田県土整備事務所
御部・大長見ダム管理グループ
〒697-0041 島根県浜田市片庭町254
TEL.0855-29-5674



紅葉湖イメージキャラクター